

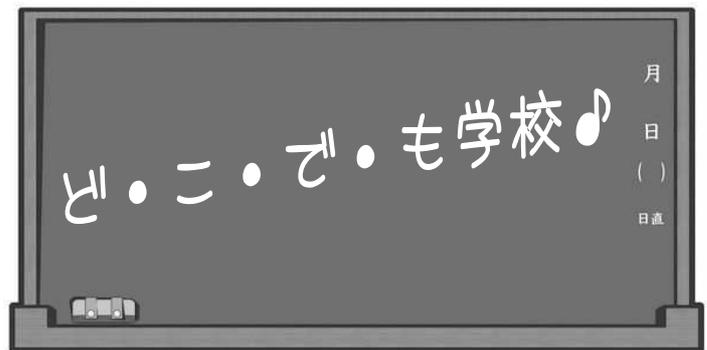
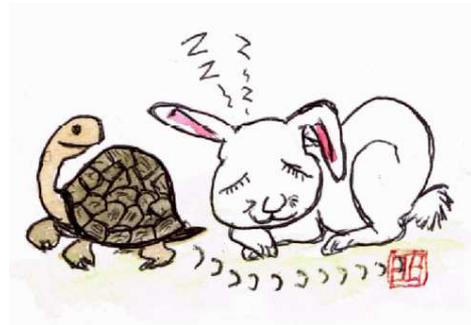
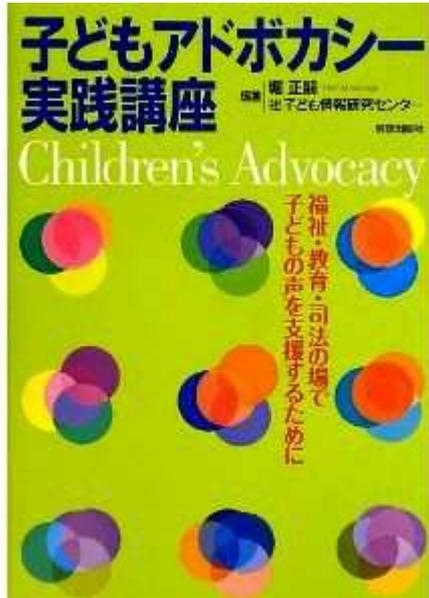


2013年5月号

りっぷ ろーかる いんふおーめーしょん ペーパー  
L I P (Local Information Paper) とは……

ひらかたしめんはつ ふくし きょういく ぶんか かんきょう  
枚方市民発の、福祉・教育・文化・環境・ボランティアなどの

じょうほう けいさい ちいきみっちやくがたじょうほうし  
情報を掲載する地域密着型情報紙をめざします。



- ◆ [もぐらの目] 31 ♪ 『遅れてくるものにこそ輝きが』
- ◆ ど・こ・で・も学校 開校の辞♪
- ◆ 「子どもアドボカシー実践講座」
- ◆ [今月の五行歌]
- ◆ イベント紹介      ◆ 編集局より/LIP配布場所/会計報告

「LIP編集局」 <http://www.love-dugong.net/lip/>

**連絡先**

メールアドレス: lip@love-dugong.net

TEL: 070-5653-6913 (18時以降) FAX: 020-4665-8668

郵便振替口座 00920-8-120259 (LIP編集局)

「もぐらの目」(三十一)

遅れてくるものにこそ輝きが

鶴島緋沙子

大阪府枚方市氷室台という所の、一番山手に近い奥まったところが私の住まいである。その名の通り、昔、殿様に、夏の献上物として、差し上げるべく冬の間に蓄えた氷を保存しておく室があったという場所である。一説には、大阪城の豊臣家にも運んだとある。

ということ、我が家の庭の木々や花々は、と書くとも如何にも広々とした手入れのいき届いた庭を想像される向きがあるかもしれないが、ほんのささやかな空間である。そこで、家族と共存している侘びすけや紫陽花やつつじの花々の咲くのが、他所のそれよりも、ワテンポ、ツウテンポ、はたまたスリーテンポも後れを取るのである。

そうそう、三年ほど前に、根が張りすぎるといふ理由で切ってしまった桜の花も、世間がお花見で浮かれているころ、私の出番はあ

鶴島緋沙子さんは、山田洋次監督の映画「学校Ⅲ」の原作となった「トミーの夕陽」や、「私の中の瀬戸内寂聴」(いずれも、つげ書房新社刊)などの作品で知られる枚方市在住の作家。「大阪府高齢者大学校エッセイ文科学科」講師。また、「自閉症」子さんの母親であり、「枚方自閉症児(者)親の会」の代表です。「もぐらの目」は、隔月連載の予定。これまでの連載をまとめた著書「もぐらの目」が、つげ書房新社から刊行されています。 URL : <http://zz.tc/tommy>

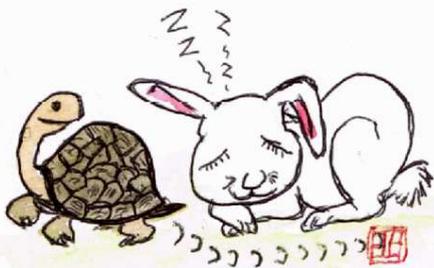
るのかなという風情で、ちらっ、ちらっの様子を窺う態で、顔を覗かせていたのを思い出す。

昔、芥川、ノーベル賞作家大江健三郎氏の『遅れて来た青年』という本を手にしたことがある。敢て読んだと言えないのは、どこかにほっとする箇所のある小説でない、肌合合わないという私の読書への偏見が、そのマジな深刻さに少々辟易して、途中でギブアップしたからだ。

戦後の世相の中で、戦争で死ねなかつた世代の焦りというか、取り残された者の虚無感みたいなものを、著者自身の不安に重ねて書かれた小説だったように思う。しかし、結局は、生き残って戦後に続く社会に参加してきた青年を「遅れて来た青年」としながら、肯定し、希望に繋げたのではないだろうか。

「遅れて来た青年」かつ、いいタイトルだ。「残りものには福がある」「兎よりも亀」。子供の頃から、伝え聞いてきた味のある言葉だ。勉強一番。スポー

ツ一番。金持ち一番。そんな陰には、そうなる為には失われてきたものが、一杯あるように思う。優しさ、思いやり、協力。そんな言葉が、ただただ、懐かしい。そのこぼれ落ちたものを拾い集めながら歩く「遅れて来た青年」、



その中にこそ、キラキラ輝く本当の人生の生きがいが見つかるのかもしれない。

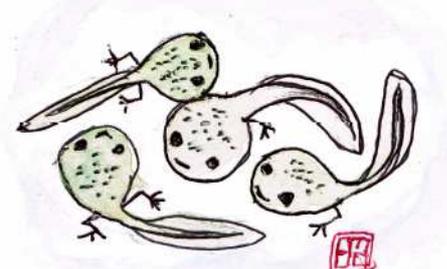
経済大国、オリンピック誘致、何が何でも金メダルでないと、などなど。競争一点張りの日本の社会に、早晩、疲れと影が見え始めるのも当然のこと。

そんな現代、貴重なのは、「遅れて来た青年」たちかもしれない。遅れてきたために分かる叡智で、先に走りたがる人間たちをコントロールする役を担い、途中で「老人」や「障害者」を含めた最も「遅れて来る人たち」を擁しながら一緒に歩いて来るに違いない。

それが、点数では表せない本当の意味での勝ち組人間であり、将来の美しい国創りの基になる人間なのではなからうか。

春爛漫の世間をよそに、我が家の梅の紅色が、遠慮がちに存在を主張し始める頃に、これもまた遅ればせにはせ参じる鶯が、最初は遠慮がちに、だんだんオペラのエピローグを飾るように、コミー一番の美声を聞かせてくれるのである。

今、心に迫る言葉、サン・テグジュベリの名作『星の王子様』の中から。—— かんじんなことは、目に見えない——。けだし至言である。



## はじめまして

私はこの3月で大阪府立枚方なぎさ高校を定年退職しました。南寝屋川高校(現緑風冠高校)14年、東寝屋川高校(現北かわち皐が丘高校)11年、四條畷高校9年、そして枚方なぎさ高校で4年、計38年間を府立高校教員として過ごしてきました。定年後も教壇に立ち続けたいと思い再任用(定年後の雇用)を希望していたのですが、昨年の入学式、国歌斉唱時起立しなかったことを理由に拒否されてしまいました。

## 命令に従うことはできませんでした

長い教員生活のなかで、昨年初めて命令を受けました。これは、私だけではなく、大阪府立学校・府

その「学校」で個々人が平和を学び得たことも事実です。「学校」は二律背反、つまり時代をそのまま受け入れ適応を求める面と、時代を批判し新たな創造を求める面の両面があるのかもしれませんが。前者はおもに為政者が企図するもの、そして後者は個々人が創り得るものと言えるのではないのでしょうか。

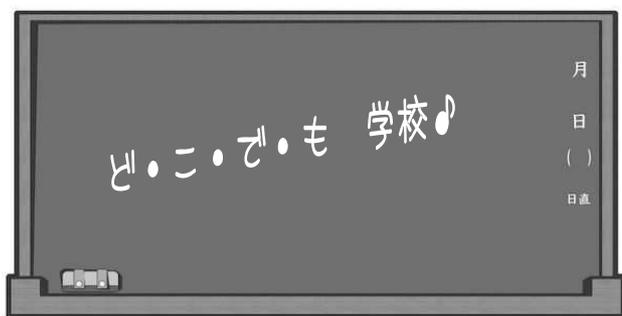
## もうひとつの学校創ります！

これまで、私はそういう「学校」の内部から異議申立てを行って来ました。国歌斉唱不起立もそのひとつです。そのことで私は「学校」にはいられなくなりましたが、考えようによっては、そういう「学校」から私は初めて解放されたとも言えます。

話は少しさかのぼりますが、数か月前、「君が代強制反対2.11集会」のピラを受け取った1人の高校生からうれしい応援のメールを受け取りました。それ

～ Fran と ZAZA と POMO のみんなで作る～

# ど・こ・で・も学校～開校の辞



立高校全教職員に「国歌斉唱時には起立斉唱せよ」との職務命令が出たのです。私の母は1930年生まれ、戦地の兄に「どうかお国の為に死んでください」と手紙を書くような見事な軍国少女だったそうです。私は、その母から教育というものの恐ろしさを子どもの頃から聞かされてきました。だから、学校で「日の丸」や「君が代」を強制するようなことはあってはいけないと考えています。教員が命令に従い起立斉唱すれば、その次には、教員が生徒に指導と称して国歌斉唱を強制することは目に見えています。愛国心が学校で強制される時、次に来るのは戦争です。それは歴史をみればわかります。

## 学校って何でしょう？

日本の近代化の中で「学校」が生まれたのは軍隊を作るためであったとの一説があります。しかし、

が Fran との出会いです。何度かメールを交換し私たちは意気投合しました。そして、Fran と私 ZAZA は、もうひとつの学校、時代に騙されずに、一人ひとりを大切にする学校、「学校」の制約を超えた自由な学校を創ることにしたのです。枚方なぎさ高校の生徒にも呼びかけました。

## ど・こ・で・も学校の入学の集い

4月19日、Fran と ZAZA と入学を志願してくれた POMO の3人で「ど・こ・で・も学校」開校・入学の集いを行いました。校則はただひとつ、「自分を大切にすること」。なんでも話し合っ決めて。講座は「人はだれでも幸せになる権利がある」「ことばと社会」「生き方模索」の三つです。「ど・こ・で・も学校」の名の通り、「山歩き」も計画中です。ワクワクどきどきのスタートです。だれでもいつでも入学可能です。よかったら、みなさんも入学されませんか？ 歓迎します！ 入学手続きはいたって簡単、メールで「ど・こ・で・も学校入学希望 名前」(メール宛先 zaza0924@yahoo.co.jp) と送ってください。それだけで OK です。「学ぶことは楽しくなくっちゃ！」をモットーに続けていこうと思います。

志水(辻谷) 博子

3月24日(日)大阪・弁天町のHRCビルで、社団法人・子ども情報研究センターの主催で「子どもアドボカシー実践講座」が開催されました。参加者は61人、子ども情報研究センターで活動する会員をはじめ、児童相談所の職員や、研究者、保育士、そして子育て支援にかかわる人たちです。「学校・福祉現場で一人ひとりの子どもの声をどう支援するか」のテーマのもとに、講座とワークショップに取り組みました。

### ■子どもアドボカシーって、何？■

アドボカシーとは、「政策提言」や「権利擁

### ■たとえば、それは、「マイク」の役割■

子どもには自分にかかわる決定について意見を表明することができる、そしてその意見をおとなによって聴かれ、考慮される権利がある——国連・子どもの権利条約12条には、そう記されています。しかし実際には、家庭でも、学校や保育所でも、子どもは、おとなの決めたことに従順に従うことを求められているのではないのでしょうか。

おとなに子どもの声を聴いてもらい、子どもの声はその子の生活にかかわる決定に影響を与えられるように支援することが「アドボカシー」です。「子どもの声なんて」というおとなに、子

## 『子どもアドボカシー実践講座』 出版記念研修に参加しました

護」の意味で近年用いられている言葉です。耳慣れない言葉ですが、社会的に弱い立場にある人の人権をまもるための代弁や行動、政策提言という意味だそうです。

「ただ、ここで提供されるアドボカシーの理念と技術は、日本にはこれまで存在していなかったものです。みなさん、心も頭も白紙の状態から学び始めてほしいと思います」と講師の熊本学園大学教員の堀正嗣さん。「現在イギリスで行われている世界最先端の子どもアドボカシー理念と技術を学び、実際の現場で活用してください」と励まされました。

どもの声が届くように、アドボカシーは、子どもの声を大きくする「マイク」のような役割を果たします。子どもたちが自信を持って、自分の気持ちや願いを話せるように励まして、支援することもアドボカシーの仕事です。アドボカシーを行う人のことを、アドボケイトといいます。

### ■あなたのおかげで、話ができた！■

そのような話を聞いてから、ワークショップに入りました。6～7人のグループに分かれ、「いじめによる不登校」「障害児の大学進学を選択」「児童養護施設で」と3つの場面を想定し、

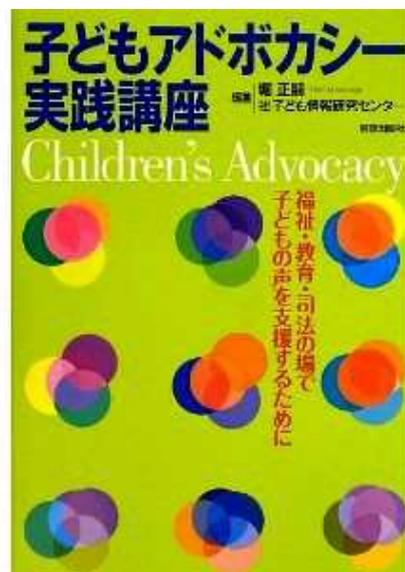
ちいさな声に耳澄まし、声なき声を聴き取りたい！

子ども、先生、校長先生、施設長などの役割を各々が引き受けて、ロールプレイングを行いました。

児童養護施設の場面で、私は、施設を出て母親の家で暮らしたいと願う高校三年生の女の子になりました。隣に座った女性が、アドボケイトの役割です。

「あのね、私、話を始めたらちゃんと言えらと思うから。施設長やスタッフの前で話し出すきっかけを、アドボケイトのお姉さん、作ってください」お願いした通り、「ケース会議」で、アドボケイトが話の口火を切ってくれ、スタッフや施設長役の人たちの前で、高校生の私はちゃんと話をすることができました。「あなたのおかげ。ちゃんと話ができました！」「打ち合わせ通り、うまくいきましたね」「アドボケイト役の方が最初に話したので、それがばーんと来て。

この子の話を、ちゃんと聞かないといけないと思いました」。アドボケイト役や施設のスタッフ役の人たちと、プレイの後にそんな感想を話しました。……アドボケイトって、すごい！



## 『子どもアドボカシー実践講座』を読んでみて！

講座のおみやげは、新しく出版された『子どもアドボカシー実践講座』。196頁の本の中に、この日の講座やワークショップで学んだことや、語りきれなかったということが、びっしり詰め込まれています。2日間の集中講座で子どもアドボカシーの実践を学ぶという形で、話し言葉で書かれていますので、とても読みやすい。

それでも難しいんですよ、読むのはいや、という方には、106頁以降の事例検討の会話の部分だけでも読んでほしい。相手の気持ちを聴きながら、こういう風に話をしていけば、心がひらけて、みんな本当にしあわせになれるのではないかしら……。

子どもの心の中にある声を聴くこと、声にならない叫びに耳を傾けることで、どんなに豊かな世界がうまれてくることでしょう。今世の中にあるたくさんのお悩みも、そ

こにかかわる人の思いや気持ちを丁寧に聴いていくことで、たいがい全部解決できるのではないかしら……。そんな風に大きな期待を抱くことができます。

すばらしい可能性を持つ子どもアドボカシーを、これから日本で実現していきたい……！ 大きな希望をいただきました。

(子ども情報研究センター会員 豊高明枝)

書名：子どもアドボカシー実践講座  
福祉・教育・司法の場で子どもの声を支援するために  
編著者 堀正嗣  
社団法人 子ども情報研究センター  
発行：解放出版社  
発行日：2013年4月15日  
定価：2,000円+税

LIPが選ぶ

# 今月の五行歌

エアメールに

桜の花びら忍ばせて

南の島に住む

君に送ったこと

あったよね

ゆきまゆ

我が家の

「鉄の女」は

すつかり錆びた

笑う自分だって

どうに磁力失せてる

一楽

パニック映画の

ワンシーンだろ

向かいの席

八人全員

マスクなり

さなぎ

## 【五行歌ひらかたミニ歌会】

☆毎月一度月曜日午前10時半〜12時半、メセナひらかた諸活動室で集まっています。

問合せ akkie.toyotaka@kud.biglobe.ne.jp

または、090-5893-5635 (とよたか)まで

## イベント・サークル・ボランティア情報

### 『暮らしに忍び込む放射能』

あなたは内部ヒバクの恐ろしさをご存知ですか。1月、福島  
の魚から25万4000ベクレルのセシウムが検出されました。お  
米の流通に産地偽装も明らかになりました。私たちは毎日の食  
材に何となく不安を感じていても、どうしたらいいのか、分か  
らないまま、過ごしているのではないのでしょうか。

そもそも国の基準（1キロ当たり100ベクレル）って安全な  
のでしょうか。家族や子どもたちを守るために一度しっかり学  
習し、出来ることから始めませんか。ぜひ、気軽にご参加くだ  
さい。

#### ●講演 隠された放射線内臓被曝と健康リスク

医師 松井英介さん（岐阜環境医学研究所所長）

著書『見えない恐怖 放射線内臓被曝』（旬報社）

#### ●事例報告

①宝塚市の給食への取り組み

②食生活での具体的な工夫

#### ●特別報告「福島第一原発 被曝労働の現実」

北島教行さん（福島原発で事故収束作業に従事）

#### ●日時：2013年5月25日（土）

PM1:00開場 1:20開演

#### ●場所：枚方市民会館3F 第3会議室

#### ●参加費：800円

#### ●主催：とめよう「もんじゅ」関西連絡会

&脱原発政策実現関西ネットワーク

#### ●問合せ：ストップ・ザ・「もんじゅ」

枚方市川原町1-5

TEL&FAX 072-843-1904

メール：stopthemonju@sannet.ne.jp

■同志社香里の加藤昌孝（かとっちょ）先生が、この春定年  
を迎えられ、ひとまず教師生活に区切りをつけられました（と  
はいえ、まだまだ大学や教員養成でこき使われるんや、と言  
うてはりましたけど）。退任記念に、清風堂書店から『高校生と  
つくる楽しい「古典」の授業』と題したご著書を出版されてい  
ます。僕は組合関係でいろいろとお世話になっています（先日  
も日本海まで「日帰り弾丸カニツアー」に行ってきました）し、  
実はこの春から久しぶりに古典を担当しているの、先生のご  
著書が大変参考になっています。

そこで、かとっちょ先生のお話を聞き、この本をベースに授  
業なんぞももっていた上で、参加者もいろいろと質問や意  
見を言い合う相互交流的な会ができなかなと思って企画しま  
した。「先生」と呼ばれるよりは、生徒からも保護者からも「か  
とっちょ」と呼ばれるのを好む、気さくで豪快な方です。国語  
の専門家である必要はありません。

高校生に戻った気分で、「かとっちょ」の楽しい授業を受け  
てみませんか？

演題：「かとっちょ先生に聞いてみな！～加藤昌孝先生講演会  
～」

日時：2013年5月10日（金） 午後6時半～9時

会場：エルおおさか南館103号室（電話：06-6942-0001）

会費：500円

時程：1. 加藤先生のお話／模擬授業

2. 質疑応答

3. 班に分かれて、参加者から「私の授業の一工夫」紹

介

4. 各班の発表

5. 発表を受けての質疑、加藤先生のご感想

連絡先：smac1962zcv@yahoo.co.jp（牧口）

## イベント・サークル・ボランティア情報

北摂「障害」のある子どもの高校進学を考える学習会  
「みんなといっしょに高校へ！」

日時：5月18日(土) 13:30~16:30

場所：茨木市立障害福祉センター「ハートフル」4階大会議室  
(阪急茨木市駅西口から800m、JR茨木駅東口から1300m)

内容：受験した人の取り組みを聞いて高校進学をめざそう！

資料代：200円

※手話通訳あり。

※話を聞いた後、個別の進路相談にも応じます。

主催：「障害」のある子どもの教育を考える北摂連絡会

共催：地域・校区で「障害児・者」の生活と教育を保障しよう  
茨木市民の会

〔問い合わせ先〕

鈴木：090-9166-5575 質問：090-1712-7990

FAX：06-6840-1622

メール：suzulann-rin-4842@ezweb.ne.jp

## 第15回枚方市教委との話し合い

日時 5月9日(木) 午前10時~12時

場所 きらら内枚方市教育委員会  
1階ロビー 9時45分集合

相談課課長が替わりしました。

関心のある方は是非ご参加ください。

枚方自閉症児(者)親の会

## みんなで作る広場「ちょこっと」

~5月の予定~

5/11(土)13:30~絵手紙サークル(200円)

5/12(日)13:30~みんなで歌おう

15:00~お誕生会(300円、コーヒー・ケーキ付)

☆楠葉生涯学習市民センター5月祭参加 第3集会室

5/18(土)10:30~16:00/5/19(日)10:00~15:00

展示・バザー・休憩コーナー コーヒー他飲み物100円

5/19(日)遊びの広場おもちゃ作り(50円)

(5月祭参加の2日間は野田のちょこっとは閉所)

5/22(水)13:30~五行歌(100円)

5/24(金)10:00~12:00健康広場(200円)

5/26(日)10:00~14:00ちょこっとバザー

5/27(月)13:30~15:00はがき絵(200円)

6/1(土)10:00~12:00脳トレ(200円)

6/2(日)13:30~15:30アコーディオンライブ 場所は楠  
葉野田区公民館(300円)

毎週水曜日は13:00~囲碁もやっています(100円)

自転車修理・不要自転車無料引き取りしています。

ちょこっと072-856-9439 閉所時080-3916-9147(山本)

ホームページ<http://tyokotto.justhpbs.jp/>

## 音楽でリフレッシュ!

~思いっきり声を出して歌ってみませんか!~

日時：5月7日(火) 13:00~

場所：南部生涯学習市民センター 2階音楽室

日時：5月25日(土) 14:00~

場所：サンプラザ生涯学習市民センター 5階視聴覚室

参加費：500円(初回無料)

申し込み・問合せ先 音楽でリフレッシュ! 担当：中嶋

TEL：072-840-5493

## 「六カ所村ラプソディー」上映会

■2013年5月19日【日】開場13:30 上映14:00~

■場所 ゆうゆうセンター 2階 体験学習室

交野市天野が原町5-5-1

JR河内磐船より 徒歩5分/京阪 河内森より 徒歩8分

■料金 800円(小学生以下:無料です)

■主催 「小さな上映会」藤川

電話 080-3806-9952 メール b981@yahoo.co.jp

※小さなお子さんと一緒の方も大歓迎です。お友達お知り合いを誘って、ご家族と、もちろんお一人でも、お気軽に参加していただける小さな会です。席に限りがあるので、ご予約ください。

## 『よろこびフェスタ2013』開催決定

大阪ダウン症親の連絡会[DS大阪]恒例の「よろこびフェスタ」が、2013年6月16日に中央区民センターで行われることが決まりました。

『よろこびフェスタ』は、大阪府内のダウン症児の音楽・ダンス・アートの年に一度の合同発表会です。今年で10回目を迎え、例年多くの家族が来場します。

●日時=2013年6月16日(日) 12:00~17:00

●場所=中央区民センター

大阪市中央区久太郎町1-2-27

●アクセス 地下鉄堺筋線・中央線「堺筋本町」下車、3号出口から。

●内容=ダンス・ピアノ・太鼓・楽器演奏などのパフォーマンス・絵画・写真などの展示

●出演者=ダウン症本人や家族など及び関係者

●入場料=無料

●主催=DS大阪(大阪ダウン症親の連絡会)

●協力=DS大阪さぼーたーずくらぶ

●後援=大阪府・大阪府教育委員会

●協賛=ジェイアイシーウエスト株式会社・ぜんち共済株式会社・太陽生命保険株式会社

●問い合わせ=DS大阪(大阪ダウン症親の連絡会)

yoshikawa\_oyaji@yahoo.co.jp



LIPは、次の場所に置かせていただいています。

**枚方市**

- ★ 各生涯学習市民センター・図書館・メセナひらかた 3F ウィル・ひらかた NPOセンター
- ★ 枚方市ボランティアセンター [ラポールひらかた内 072-841-0181]
- ★ 北河内ボランティアセンター [磯島茶屋町 20-1-101 072-848-4166]
- ★ 子ども家庭支援センター ファミリーポータルひらかた [曙堤南町 2-50-1 072-850-4400]
- ★ コミュニティカフェ ラテール [西禁野 1-3-27 禁野ロバスタ前 072-848-0418]
- ★ NPO法人 りりあん [長尾元町 6-39-15 lilian@kcat.zaq.ne.jp]
- ★ 婦人洋品店 シヤルム [南楠葉 1丁目 2-16 ぐずは公民館向かい 072-850-1362]
- ★ 喫茶 Dik Dik [岡本町 8-17 072-846-5377]
- ★ 街かどデイハウス 藤阪愛逢 [藤阪元町 2-27-1 072-855-6978]
- ★ 泉屋 桶薬店 [楠葉並木 2-2-2 072-868-3060]
- ★ 身体障害者共同作業所 キッズ枚方コミュニケーションズ [堤町 2-1-103 072-861-6360]
- ★ 京阪総合会計事務所 [西禁野 2-4-17 第5松葉ビル 301 072-805-5252]
- ★ ヘアサロンかわえら [長尾東町 3-1-4 072-859-1601 (予約優先)]
- ★ ソーイングの店 みなよし [香里ヶ丘 3-11-3-4 072-854-0756]
- ★ 枚方市地域包括支援センター社協こもれび  
[南楠葉 1-30-1 エクセレントビル 203 号室 072-856-9177]
- ★ 割烹 千鳥 [岡東町 12-13 ひらかたさんぶらざ BIF 072-843-8114]
- ★ WAVE34 (ボウリング場) [田口 4-11-8 072-848-0450]
- ★ ヘアースタジオばべぼ [南楠葉 2丁目 4-3 072-850-9070]
- ★ 枚方市役所 (市民活動課・環境総務課・人権政策室) [大垣内町 2丁目 1-20 072-841-1221]
- ★ 枚方市役所 津田支所 [津田北町 2-25-1 072-858-1502]
- ★ (財)枚方市文化国際財団 [岡東町 8-33 市民会館内 072-843-1122]
- ★ 枚方市総合福祉センター [津田東町 2-26-1 072-858-5835]
- ★ 社会福祉法人 心愛 心学塾作業所 [大峰元町 1丁目 21-5 072-859-9194]
- ★ (社)福やなぎの里 精神障害者通所授産施設 びびるす [大字尊延寺 2200 072-859-0245]
- ★ 全労済大府本部 共済ショップ枚方 [大垣内町 2-10-4 宮村第三ビル 3F 072-804-5550]
- ★ NPO法人 パーソナルサポートひらかた [中宮山戸町 10-12-105 072-848-8825]
- ★ 自閉症療育センター Link [岡東町 24-10 アイエス枚方ビル3階 072-841-2411]
- ★ 紅茶専門店 VIE [南楠葉 1-1-34 072-856-2355]
- ★ shot bar カボチャノース [枚野下島町 14-22 072-809-7676]
- ★ ポパイ商店 [山之上 2丁目 16-9 072-846-7232]
- ★ NPO法人 ハートネット [村野西町 1-27 072-805-4373]
- ★ クッキー工房おれんじはうす [交北 3丁目 3-10 072-856-8378]
- ★ 陶器食器のお店 a new sprout [堤町 2-14 072-846-9550]
- ★ 雑貨/カフェ ルポ・デ・ミディ [堤町 10-12 072-843-1525]
- ★ マイウェイひらかた ワーク草笛 [藤阪天神町 3-1 072-808-2031]
- ★ たかま歯科医院 [津田駅前 2丁目 17-1-108 072-896-1180]
- ★ 渦潮バーカリー桶薬店 [町楠葉 1-30-6 072-856-5420]
- ★ 枚方市野外活動センター [穂谷 4550 番地 072-858-0300]
- ★ 社会福祉法人くにみ会「清水園」 [津田 873-2 072-896-1600]
- ★ 輝きプラザ「きらら」 [車塚 1-1-1]
- ★ 三代目たぐちゃん ピーコ [枚野南 2丁目 7-30 080-3785-1728]
- ★ MIKIHOUSE キャラメル [枚野南 2-9-15-105 072-857-6626]
- ★ 株式会社 丸天酒店 [枚野南 2-5-23 0120-39-7003]
- ★ Mogaloga Dining 枚方宿 [堤町 2-15 072-846-3535]
- ★ bar moonshine [宇山町 4-8 072-866-5667]
- ★ ぶらっとホーム・すかまらひかし [藤阪東町 3-1-11 072-859-5005]
- ★ とくふうホーム [大字尊延寺 4592-24 072-858-4058]
- ★ 音楽療法スペース ウッドヴィレッジ [枚野下島町 9-12 070-857-3540]
- ★ みんなでつくる広場「ちよこつ」 [楠葉津田 2-30-8 072-856-9439]
- ★ スワイルイ枚方南 [津田山手 1丁目 24-1 072-808-4126]
- ★ やすらぎの丘霊苑 [大字尊延寺 4588 番 4 072-896-1212]
- ★ 韓国茶が楽しめるカフェ「Cafe Cajjo」 [西禁野 2-8-3 072-848-8481]
- ★ 苺のいえ [中宮東之町 15-12 072-805-2660]
- ★ ちいさいまいえん みんなの里 [楠葉並木 2-28-4 072-845-6814]

**そのほか**

- ★ 龍谷大学 深草学舎ボランティア・NPO活動センター  
[京都市伏見区塚本町深草 67 075-645-2047]
- ★ フレッシュバーカリー ラッキー [寝屋川市早子町 18-1 072-821-0413]
- ★ ヘアサロンおおまち [交野市私部 3-17-2 072-891-5024 (予約優先)]
- ★ NPO法人 ゆいむ(結夢) [交野市私部 7丁目 12-58 072-810-7880]
- ★ えんでら村作業所 [交野市天野ヶ原町 2丁目 14-20 072-893-4890]
- ★ 小規模通所授産施設 ミルキーウェイ [交野市天野ヶ原町 2丁目 14-20]
- ★ 交野市役所 市長公室 [交野市私部 1丁目 1-1]
- ★ きさいち植物園ファンクラブ事務局 [交野市私市 7-19-14 072-894-0840]
- ★ わくわく科学館 [交野市私市 6-10-2 080-3819-7292]
- ★ 大府衛生会附属診療所 [高槻市奈佐原 955 072-696-3351]
- ★ 宇治田原社会福祉事務所 [綴喜郡宇治田原町荒木天皇 2 0774-88-2394]
- ★ むく福祉会 ワークホーム れつ [綴喜郡宇治田原町費田船戸 38-1 0774-88-5846]
- ★ 福山すこやかセンター内 ボランティア活動センター [福山市三吉南 2-11-22 084-928-1346]
- ★ ベビージェイブネット松井山手 [八幡市欽明台北1 ソフィアモール内 075-982-3271]
- ★ 「月桃の花」歌舞団 十三スタジオ [大阪市淀川区木川西 3-4-20 2F 06-6885-8475]

応援をお願いします！

**LIP 応援団**

**LIP 会計報告 (前号以降)**

| 金額(円)  | 内容                  |
|--------|---------------------|
| 28,315 | 前号から繰り越し            |
| 15,380 | NPOセンター<br>寄付プロジェクト |
| 4,900  | イエローレシート寄付          |
| ▼120   | 郵送代                 |
| ▼4,320 | 4月号紙・印刷代            |
| ▼3,000 | NPOセンター年会費          |
| 41,155 | 計 (次号へ繰り越し)         |

■実家の畑で亡父が作っていた野菜たちが  
元気過ぎてどんどん育ってしまうので、収穫  
して食べています。白菜は育ちすぎると葉が  
開き、菜の花を咲かせることを知りました。  
ほうれんそうも、巨大に育ちます。びっくり。  
ブロッコリーもどんどん育ってしまい、茎が  
立派過ぎるので、試しに茹でて刻んで食べて  
みると、コリコリ美味しいサラダになりました。

■LIPは市民が伝えたいことを書き、市民  
が印刷し、市民が配布する地域密着型情報紙  
です。いつでも原稿やボランティアを募集し  
ています♪ (w)

**ひら** 「枚方市民にだけ」  
**か** 読んでほしい情報サイト  
**ー** 枚方つーしん

表紙左下イラスト：平井由恵